

研究課題名:

ICD-11 導入によるがん登録業務への影響調査

研究責任者:

国際医療福祉大学大学院 診療情報管理・分析学分野

分野責任者 教授 山本 康弘

本研究の意義と目的:

様々な疾病は、WHO(世界保健機関)が決めたコードで分類できるようになっています。主たる疾病分類のひとつとして、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類: International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems(以下「ICD」と略)」があります。日本でも、統計調査に使用されるほか、医療施設での診療録の管理等に活用されています。

医学の進歩に伴い、概ね10年に一度、改訂されています。現在は、第10版(ICD-10)が使用されていますが、約30年ぶりに大改訂が行われ、2022年2月に新たな分類(ICD-11)が発行されました。

がん登録では、分類にはICD-Oが使用されています。現在は、ICD-O-3が使用されておりICD-10と関連しています。ICD-11を使用する場合、がん登録のデータ精度や統計の継続性という視点からの問題が生じるのではないかと、多施設のがん登録データを基に分析します。

本研究は、ICD-11 導入後のがん登録の精度向上、均てん化に資すると考えます。

研究の対象:

頭頸部がん、大腸がん、肺がんの患者さんで、2020年1月1日から12月31日の期間に当院で初めて「がん」と診断された方(他施設で診断された後、上記期間に初めて受診した方を含みます)

研究の方法:

研究期間:倫理審査承認日から2024年3月31日

情報の管理:研究実施代表者の所属する千葉医療センターにおいて管理され、統計作成・分析が行われます。二重扉で施錠管理されており、昼間は入退室記録により、夜間休日は監視カメラにより、24時間入退室が管理されています。使用するパソコンは2つのパスワードを必要とし、離席時にはその都度、ログアウトをします。パスワードは4ヶ月ごとに変更し、一度使用したパスワードの使いまわしは行っていません。

研究に用いる情報:

院内がん登録データから個人情報を削除した情報(がんの部位、がんの組織の形、診断日、診断した施設等)

個人情報の保護:各施設で個人情報を削除して提供されます。お名前、住所、生年月日などの個人を判別できる情報は使用しません。

利益相反:特定の企業・団体の関与はありません。

お問い合わせ先:

本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

研究責任者:

国際医療福祉大学大学院 診療情報管理・分析学分野

分野責任者 教授 山本 康弘

研究実施代表者:

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻

診療情報管理・分析学分野 博士課程 山口 千春

(千葉医療センターにて診療情報管理士として勤務)

お問い合わせ先:

〒260-8606

千葉市中央区椿森4丁目1番2号

独立行政法人 国立病院機構 千葉医療センター

医療情報管理室 診療情報管理士 山口 千春

電話:043-251-5311(内線 2304)

FAX:043-255-1675